

## 協働評価シート

事業名		市内の家庭を対象にした生ごみ堆肥化普及・啓発活動	実施年度	平成24年度
部 局		環境部	課 所	ごみ減量課
団体等の名称		にいはま環境市民会議		
評価項目			評価者	評価
相互理解	それぞれの特性や立場を理解し合えたか	お互いの特性や立場を十分に認識、尊重して、事業を実施することができたかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
対等	双方が対等の立場に立っていたか	対等な立場で協議、事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
自主	市民の自主的な活動が尊重されたか	自主的活動を十分に活かして事業効果を増加させたかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
自立	市民の自立化を阻害しなかったか	依存体質が助長されるなど、市民の自立化が阻害されることがなかったかどうかを評価。(新たな自発的事業展開につながり自立化が進んだ場合はA評価)	団体等	B
			市	B
目的共有	双方が協働事業の目的を共有できたか	協働事業の目的は十分に共有して事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
情報共有	双方がお互いの情報を共有できたか	情報を十分に共有しながら事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
公開	双方の関係を十分に公開できたか	全て公開され、利便性も高いかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
「相乗効果」が発揮され、独自で行うよりも効果的と認められるか		「相乗効果」が十分に発揮され、協働が効果的と認められるかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
市民の関心や参画意欲を引き出す事業展開がされたか		十分に市民の関心や参画意欲を引き出す事業展開がされたかどうかを評価。	団体等	B
			市	B

事業の目的、目標が達成されたか、どのような成果があったか、具体的な改善点等があれば記載（自由記述）

団体等	<p>生ごみ堆肥化の啓発、講習会開催・募集の広報などを市が実施することにより、にいはま環境市民会議の知識や技術を十分に活かし、大きな効果を上げることができた。</p>
市	<p>にいはま環境市民会議が有する、生ごみ堆肥化に関する専門的な知識や技術を多くの市民に還元し、生ごみ堆肥化を普及することができた。</p>
相互協議 結 果	<p>予想以上に、段ボールコンポストでの生ごみたい肥化に対する市民の反響は大きかった。 今後も、市民の生ごみたい肥化需要を積極的に掘り起し、様々な生活様式に対応した方法により生ごみ堆肥化を実践できるよう、今後も協働で生ごみ堆肥化の普及に取り組む。</p>